令和6年度特許調査実践研修　実施報告

令和7年3月

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）では、令和6年度 大阪工業大学と連携して、特許調査実践研修をオンラインにて実施しました。本研修では、特許出願前から特許取得、権利活用に至るまでに必要となる効率的な特許調査の手法や特許審査基準に基づいた特許性判断について、講義だけではなく、実習、グループディスカッションを通じて学習いただきました。また、研修内容の疑問や日常業務の特許調査等に関する悩みを講師に個別相談できる「お悩み相談室」を開設し、受講生に活用いただきました。

1. 研修の概要		
（1）日程	8月26日～8月28日（3日間）	
（2）開催方法	オンライン	
（3）参加人数	17名	
（4）講師	4 名	
2. アンケート結果 （回収率：100%）		
（1）研修全体として	人数	割合
・非常に有意義であった	11 名	65 %
・有意義であった	6 名	35 %
・どちらとも言えない	0 名	0 %
・有意義でなかった	0 名	0 %
・とても有意義でなかった	0 名	0 %
・無回答	0 名	―
（2）主な意見・要望	・J-Platpatの使い方が分かるようになった。	
	・インデックスの組み合わせの考え方を学べた。	
	・知財をひとりで担当しているため、上長への相談や自身の実務に対する答え合わせができていない状態だった。先生方や同職種の受講生の方と触れることで、自身の活動が肯定されたような、もっとこのようなスキルアップのための実践の場で学び続けられると良いなと強く感じた。	
	・普段は検索マトリックスや検索式フォーマットを使用しているため、明確なサーチ戦略や式の意図を考えることが少なかったが、今回審査官の目線を取り入れたサーチ戦略を学ぶことができ非常に新鮮だった。	
	・普段何気なくやっている調査に対して色々と見直す部分を発見することができた。また、優秀な班員と有意義な議論を交わすことができたと感じた。	
	・自分の調査レベルや基本的考えを俯瞰してみられた。	